

12月16日 TODA HALLにてリアル開催（生成AI大賞同時開催）

Generative AI Conference 2026

協賛のご案内

主催：日経ビジネス

協力：一般社団法人 Generative AI Japan

Generative AI Conference

日経BP

定着し始めた生成AI活用―「どう使いこなすか」のネクストステップへ

本カンファレンスでは、先進的な活用事例や最前線の知見をもとに「生成AIの有意性」についてさまざまな角度から発信してまいりました。業務活用が定着した現在では「生成AIをどう使いこなすか」が企業経営・事業成長において重要な指針となります。

去年の参加者からは先進事例の発信を通じて好評を得た一方で、「スポットでの利活用ではなく組織としてどう使うのか」「企業経営にどのようなインパクトを与えるのか」という問いや、「導入は当たり前」という認識のもと、効果最大化のために何ができるかに注目が集まっています。

3回目となる今回の開催では現場/部門レベルでの実践から企業/組織としての生成AI活用まで範囲を広げ、企業における生成AIの「絶対的な必要性」を広く発信いたします。製品/サービスの訴求のみならず、リアルなニーズをヒアリングし企業支援に必要なツールとして周知を広める絶好の機会となります。ぜひご協賛をご検討いただけますようお願い申し上げます。

※Generative AI Conference2025にて実施したアンケート結果より抜粋

- 生成AIが、「IT部門だけの課題」ではなく「全社戦略・経営戦略」であることを、明確にメッセージングできている点が重要です。これにより、単発の導入ではなく、組織全体の変革につながる取り組みが加速すると期待できます。
- 日本での応用開発をどんどん進めないといけないであろう点も気づかされました。
- 大企業と中小企業との間で取り組み状況に差が生まれていることに強い危機感を覚えました。

・役職者（主任/係長クラス以上）が約7割、部長クラス以上が約3割
・従業員数：1,000人以上が約5割

意思決定に関わる層が中心であり、従業員数1,000人以上の大企業が約半数

・生成AIに関しての立場：業務で実際に利用する（43.9%）、導入の意思決定をする立場（13.1%）
・生成AIの活用を進めるにあたり、知りたい情報：他社や業界での具体的な活用事例（77.6%）

生成AI活用に対する関心は高く、実践フェーズを見据えた前向きなニーズが増えている

Generative AI Conferenceとは

カンファレンス、アワード、メディアの三位一体で「生成AI」の可能性を社会に広く伝えていきます

「生成AI大賞」の実施

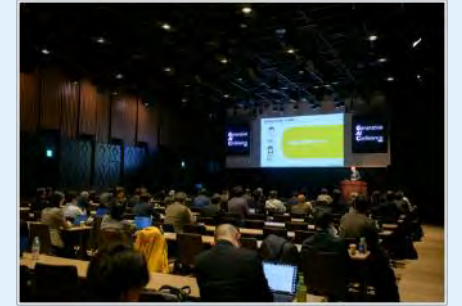
*Generative AI Conference内で
「生成AI大賞」の最終審査・表彰を行います。



企業や団体による生成AIの優れた活用事例を表彰。
アワードを通じて成功事例を共有し、生成AIが持つポテンシャルを社会に示します。

カンファレンス

「Generative AI Conference」の開催



先進企業や有識者による講演やパネルディスカッションを実施。ビジネスへの応用可能性を参加者に広く伝えていきます。

Generative(生成) AI

アワード

メディア

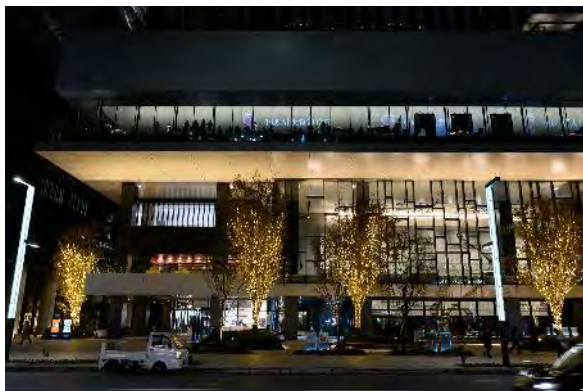
各種媒体での情報発信

日経ビジネス

日経 XTECH 日経 XTREND

「日経ビジネス」などのメディアを中心に情報発信を行い、生成AIの導入・活用に対する機運を高め、企業や社会全体でのイノベーション創出のきっかけを提供していきます。

Generative AI Conference 2026



会期	2026年12月16日(水)
開催形態	リアル開催
開催場所	TODA HALL & CONFERENCE TOKYO
主催	日経ビジネス
協力	一般社団法人 Generative AI Japan/ 日経BP 総合研究所
事前登録者	800-1,000名程度
参加対象者	・生成AI導入をご検討中の方 ・生成AI活用に課題を感じている方 ・業務効率化や競争力向上のためのAI活用に興味・関心のある方
事前登録方法	事前登録制（登録無料）

Generative AI Conferenceご協賛の3つの特徴

1

生成AIに関する専門団体

「Generative AI Japan」との連携

大手企業を中心に幅広い業種の生成AIを活用する企業が参画している
(一社)Generative AI Japanと連携し、企画立案、プロモーション、集客を行います。本カンファレンス内で、生成AI大賞の最終審査・表彰式を実施します。



Generative AI Japan

2

生成AIに関する有識者・関係者が集う

「ネットワーキングパーティー」の開催

本カンファレンスの最後には関係者限定のネットワーキングパーティーを実施します。
このネットワーキングパーティーには協賛企業の方々もご招待いたします。



3

「日経ビジネス」媒体でのプロモーション

とメディア露出

日経ビジネスの関連媒体を中心にプロモーションを実施いたします。
また、会期後にはレビュー記事の掲載も行うことで、購読者へのPRにもつながります。



Generative AI Conferenceご協賛の3つの特徴

1. 生成AIに関する専門団体「Generative AI Japan」との連携

Generative AI Japanとは

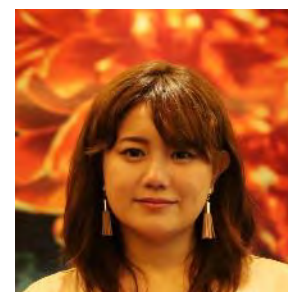
産学連携にて生成AIの活用の促進やルール・ガイドラインの整備、提言などを行い、日本の産業競争力を高めることを目指し2024年1月に発足。代表理事は慶應義塾大学医学部の宮田裕章教授が務め、理事・顧問には学术界や先端企業の有識者ら19人が就任、70社を超える企業が会員として加盟。（2025年4月時点）

Representative Director
代表理事

データサイエンティスト
慶應義塾大学医学部 教授
Co-Innovation Ecosystem 代表理事
宮田 裕章



Expert Director
有識者理事



Advisor
顧問



株式会社ベネッセスタイルケアグループ
専務執行役員
橋本 英知

Auditor
監事



税理士法人原田税務会計事務所
公認会計士・税理士・行政書士・社会保険労務士
原田 将充

デジタルハリウッド大学
教授・学長補佐
佐藤 昌宏

慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科 教授
H2L, Inc. CEO
琉球大学 工学部 客員教授
東京大学 大学院 工学系研究科 客員教授
玉城 絵美

専修大学 経営学部 准教授
國吉 啓介
※業務執行理事 兼 事務局長

Generative AI Conferenceご協賛の3つの特徴

1. 生成AIに関する専門団体「Generative AI Japan」との連携

Generative AI Japanとは

産学連携にて生成AIの活用の促進やルール・ガイドラインの整備、提言などを行い、日本の産業競争力を高めることを目指し2024年1月に発足。代表理事は慶應義塾大学医学部の宮田裕章教授が務め、理事・顧問には学术界や先端企業の有識者ら19人が就任、70社を超える企業が会員として加盟。（2025年4月時点）

Director 理事



トレンドマイクロ株式会社
サイバーセキュリティ・イノベーション
研究所 執行役員 所長
飯田 朝洋



ULSコンサルティング株式会社
取締役会長
漆原 茂
※発起人



日本マイクロソフト株式会社
執行役員 常務
クラウド&AIソリューション事業本部長
岡寄 禎



アルサーガパートナーズ株式会社
代表取締役会長兼CTO
小俣 泰明



パナソニックコネクト株式会社
執行役員 ヴァイス・プレジデント
CIO(兼)IT・デジタル推進本部
マネージングダイレクター
河野 昭彦



株式会社メンバーズ
グループ執行役員
採用育成本部 本部長
白井 恵里



アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
執行役員
パブリックセクター技術統括本部長
瀧澤 与一



日本オラクル株式会社
専務執行役員
クラウド事業統括
竹爪 慎治



株式会社ベイカレント・コンサルティング
代表取締役社長
則武 譲二



XinobiAI株式会社
共同代表CEO
馬淵 邦美



株式会社サイバーエージェント
AI事業本部
AIクリエイティブDiv 統括
毛利 真崇



株式会社Recursive
共同創業者
代表取締役会長
山田 勝俊

Generative AI Conferenceご協賛の3つの特徴

1. 生成AIに関する専門団体「Generative AI Japan」との連携

<Generative AI Japan会員企業一覧>

大手企業を中心に幅広い業種の企業が加盟

企業名	業種・カテゴリー	企業名	業種・カテゴリー	企業名	業種・カテゴリー
ULSコンサルティング株式会社	理事会員	株式会社アイスマイリー	AI	株式会社カタリス	コンサルティング
日本マイクロソフト株式会社	理事企業	アイテック阪急阪神株式会社	情報・通信	CLINKS株式会社	AI
アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社	理事企業	株式会社アカツキAIテクノロジーズ	AI	KDDIアイレット株式会社	AI
日本オラル株式会社	理事企業	株式会社アサイン	人材	Getty・イメージズ・セールス・ジャパン合同会社	サービス
株式会社サイバーエージェント	理事企業	アジアクエスト株式会社	情報・通信	株式会社 神戸デジタル・ラボ	システム開発
株式会社ベйкаレント・コンサルティング	理事企業	味の素株式会社	食料品	株式会社サンリオ	サービス
株式会社Recursive	理事企業	株式会社アルファシステムズ	情報・通信	Sky株式会社	情報・通信
アルサーガパートナーズ 株式会社	理事企業	石井食品株式会社	製造業（食品）	スパイスファクトリー株式会社	システム開発
株式会社メンバーズ	理事企業	出光興産株式会社	エネルギー	セイコーエプソン株式会社	製造・機械
パナソニック コネクト株式会社	理事企業	SB Intuitions株式会社	情報・通信	セガサミーホールディングス株式会社	サービス・機械
トレンドマイクロ株式会社	理事企業	NTTドコモソリューションズ株式会社	システム開発	セコム株式会社	サービス
XinobiAI株式会社	理事企業	ENEOSホールディングス株式会社	エネルギー・資源・素材	ZVC JAPAN株式会社	情報・通信
沖縄科学技術大学院大学	特別会員	株式会社荏原製作所	機械	株式会社ソフトフロントホールディングス	情報・通信
企業名	業種・カテゴリー	企業名	業種・カテゴリー		
大和ハウス工業株式会社	建設	阪急阪神不動産株式会社	不動産		
ディスカバリーズ株式会社	情報・通信	株式会社日立製作所	製造		
株式会社テレビ朝日	放送	PwCコンサルティング合同会社	コンサルティング		
東京ガス株式会社	ガス	富士ソフト株式会社	情報・通信		
トヨタコネクティッド株式会社	製造（IT）	株式会社BLUEISH	システム開発		
日本総合システム株式会社	ソフトウェア開発・販売	株式会社ブレイド	情報・通信		
日本たばこ産業株式会社	食品	株式会社ブレインパッド	情報・通信		
日本郵政株式会社	サービス	ファインディ株式会社	人材		
株式会社野村総合研究所	総合研究所	株式会社ベネッセコーポレーション	人材		
株式会社博報堂 D Yホールディングス	サービス	三菱総研DCS株式会社	情報・通信		
パーソルホールディングス株式会社	人材	株式会社村田製作所	製造		

Generative AI Conferenceご協賛の3つの特徴

1. 生成AIに関する専門団体「Generative AI Japan」との連携

企業や団体による生成AIの優れた
活用事例を表彰する「生成AI大賞」を同時開催

■ 審査基準

課題設定／実装の工夫／インパクト／ガバナンス／将来性

■ 審査委員長

GenAI代表理事／慶應義塾大学 医学部 教授 宮田 裕章 氏

■ 応募期間

2026年7月13（月）～9月28日（月）（予定）



総応募数は100社超え—最終ノミネート8社による激戦の末
最優秀賞は株式会社コロプラに



2. 生成AIに関する有識者・関係者が集う「ネットワーキングパーティー」の開催

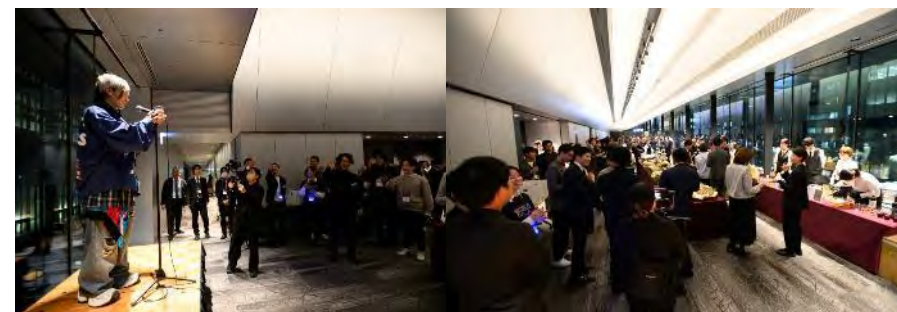
本カンファレンスの最後には関係者限定のネットワーキングパーティーを実施、生成AIに関連する有識者・関係者とのネットワーク構築に繋がります。

■ ネットワーキングパーティー開催概要(予定)

会場 : TODA HALL & CONFERENCE TOKYO ホワイエ

参加対象 : Generative AI Conference登壇者
Generative AI Japan会員企業代表者及び関係者
生成AI大賞 最終選考会登壇企業
後援機関の代表者
協賛企業の関係者

参加者数(予定) : 50 ~ 60名



2025年の開催の様子

3. 「日経ビジネス」媒体でのプロモーションとメディア露出

PR

日経ビジネス

生成AIの優れた活用事例を表彰

「生成AI大賞2025」グランプリ発表

Generative
AI
Conference
2025

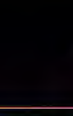
見る・学ぶ・繋がる
生成AIがもたらす変革の最前線

REVIEW

ここ数年脚光を浴びる生成AI技術だが、
2025年はAIエージェントの普及も相まってさらなる盛り上がりを見せた。
日経ビジネスは2025年12月に「Generative AI Conference」を開催。
様々な企業の生成AI活用事例や導入・定着戦略、最新のAIソリューションなどが紹介され
た。
カンファレンスの最後には、昨年に続いて2回目の開催となる
「生成AI大賞2025」（一般社団法人Generative AI Japan主催）の最終審査と表彰式を実
施。
ここでは、基調講演や特別講演の採録と共に、昨年を上回る応募数となった生成AI大賞の結
果を紹介する。

主催 日経ビジネス

協力 Generative AI Japan
日経BP 総合研究所



Japan Generative AI Award

生成 AI 大賞2025

グランプリ

INDEX

- Japan Generative AI Award
 - 「生成AI大賞2025」
 - グランプリのコロブラ
- 日本製所作
 - ソフトウェアの世界から現実世界へ
 - 「AIがわかるAI」がのびる未来
- 三井物産
 - トリアルムで開いた「導入後の世界」
 - 定着率90%を達成し取り組み
- 中外製薬
 - AIによる効率的な新薬開発
 - 臨床試験の効率化に期待
- Sansan
 - 「生成AIでビジネスとデータ連携が加速」
 - 1年後のAIで変わるAI活用の本質
- アイレット
 - 「現場の知恵」を迅速にAIで連携
 - 新事業・新製品への生成AI活用事例
- ブレイド
 - AI活用は必死の努力
 - 「顧客エンゲージメント」
- 情報立
 - 生成AIの時代こそ可能になる
 - 「人」に寄り添う「新しいブランド創造」
- サライト・オピニオン
 - 4000社が選ぶ「AI活用は急務」
 - 事業の未来へ転換する経営者と

「生成AI大賞2025」の事業パートナーは、生成AI導入の背景となる機軸設定、実装時の工夫、導入インパクト、ガバナンス、将来性の5項目。昨年を上回る応募の中で、1次・2次審査を経て8組が最終審査に選んだ。応募内容も昨年の2倍を上回る充実ぶりだった。一般社団法人Generative AI Japan代表理事で慶應義塾大学の窪田智恵教授は、「AIは私たちの基知を拡張し、より健康で豊かな、そして誰もが輝ける社会を共創するための不可欠なパートナー。今回の事例が示しているのはテクノロジーと人間の原色融合した先に広がる、輝かしい未来の設計図そのものだった」と総評した。



「生成AI大賞2025」の事業パートナーは、生成AI導入の背景となる機軸設定、実装時の工夫、導入インパクト、ガバナンス、将来性の5項目。昨年を上回る応募の中で、1次・2次審査を経て8組が最終審査に選んだ。応募内容も昨年の2倍を上回る充実ぶりだった。一般社団法人Generative AI Japan代表理事で慶應義塾大学の窪田智恵教授は、「AIは私たちの基知を拡張し、より健康で豊かな、そして誰もが輝ける社会を共創するための不可欠なパートナー。今回の事例が示しているのはテクノロジーと人間の原色融合した先に広がる、輝かしい未来の設計図そのものだった」と総評した。

選ばれた8組のうち、デジタルハリウッド、東京都町田市、コロブラ、中原製作所、三菱電機デジタルインノベーション、日本電気の6組に優秀賞を贈呈。さらに、SHFT、Shiprioが特別賞に選出。そして栄えあるグランプリに輝いたのがコロブラだ。

バーナード・ゴースピッチ
コンスルティング

BPMの進化からAIとAIエンジニアリングへ変革の道に歩みだした成長企業とは。

ZVC JAPAN (Zoom)

新しいビジネスモデルでこれまでにないAI活用を推進しZoomの成長をAIが支えるデジタルトランスフォーメーションの鍵

電通有限 / 日本経済新聞出版

日本経済新聞出版の事例に見る生成AIの導入と安全法

オナーズ / フォックススターズ

ここへ来よう！AIが未来の未来の未来と繋がる。AIが未来の未来と繋がる。

[illegible]

【参考例】Generative AI Conference2025での日経ビジネス/日経ビジネス電子版レビュー記事

Generative AI Conference

ご協賛について

ご協賛メニュー

	プラチナ協賛 600万円	ゴールド協賛 400万円	シルバー協賛 300万円
	先着3社	先着6社	先着3社
講演	30分/1枠	30分/1枠	なし
リスト提供	事前登録者全リスト提供 (800-1000名想定)	事前登録者全リスト提供 (800-1000名想定)	事前登録者リスト提供 (600名想定) ※ランダム抽出
展示	簡易展示ユニット1台	なし	なし
講演レビュー	雑誌換算 4C1P 程度の分量を 日経ビジネス & 日経ビジネス電子版に掲載	雑誌換算 4C1P 程度の分量を 日経ビジネス電子版に掲載	なし
会場・HPでのロゴ掲載	大	中	中
カタログ配布	1点	なし	なし
個別アンケート	実施可能	実施可能	なし
ネットワーキング パーティへの参加権	あり (2名)	あり (1名)	あり (1名)
CF動画	なし	なし	イベント中にCF (コマーシャルフィルム) 動画を最大2分半まで放映可能。 (30秒×4回など分割も可能) 配信時間帯は主催者で決定いたします。

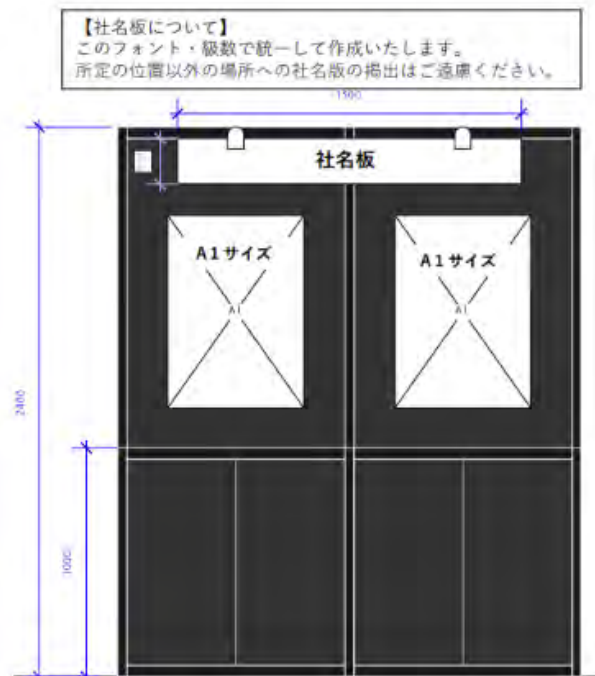
※講演内容は事例中心の内容でお願いいたします。

プログラム案

時間	プログラム	
10:00~10:40	基調講演（40分）	
10:45~11:15	特別講演 プラチナスポンサー枠①（30分）	
11:20~11:50	特別講演 プラチナスポンサー枠②（30分）	
12:00~12:30	特別講演 プラチナスポンサー枠③（30分）	
12:30~13:00	昼休憩	
13:00~13:30	主催者講演（30分）	主催者講演（30分）
13:40~14:10	ゴールドスポンサー枠①（30分）	ゴールドスポンサー枠②（30分）
14:20~14:50	ゴールドスポンサー枠③（30分）	ゴールドスポンサー枠④（30分）
15:00~15:30	主催者講演（30分）	主催者講演（30分）
15:40~16:10	ゴールドスポンサー枠⑤（30分）	ゴールドスポンサー枠⑥（30分）
16:20~18:20	生成AI大賞2026 最終審査・表彰式	
18:35~19:35	ネットワーキングパーティ	

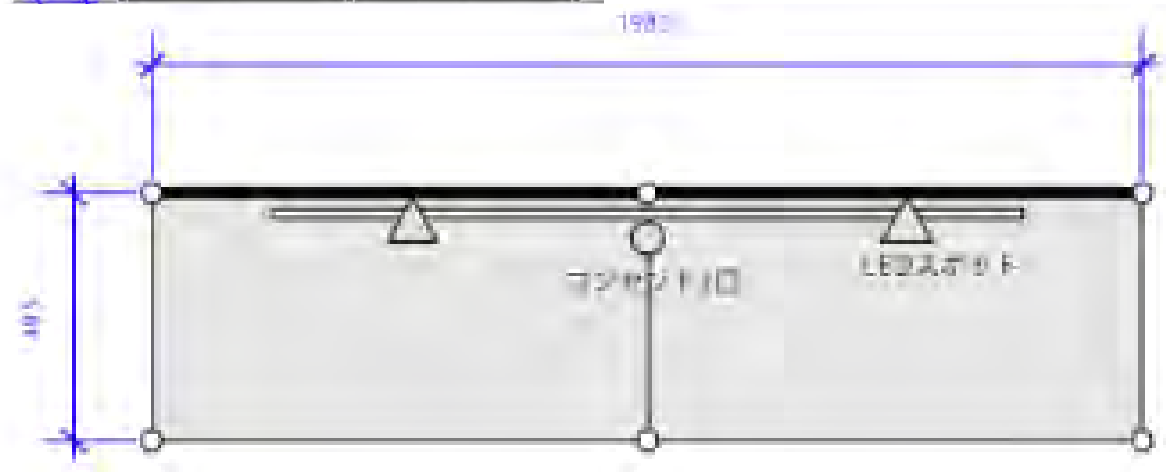
※協賛状況によってプログラムは変更となる可能性があります。

簡易展示ユニットの仕様



事務局よりご用意させていただくもの

- ① 展示システムユニット
- ② 社名板
- ③ LEDスポット
- ④ 電源 ※必要に応じてご用意します
- ⑤ 無線Wi-Fi ※必要に応じてご用意します



展示イメージ

※仕様は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

【開催概要】

日	時	2025年12月11日(木) 10:00～18:20
開催形式		リアル (TODA HALL & CONFERENCE TOKYO)
主催		日経ビジネス
協力		一般社団法人Generative AI Japan / 日経BP 総合研究所
プラチナパートナー		博報堂、アイレット、ブレイド (ABC順)
ゴールドパートナー		電通総研、オプテージ、パーソルワークススイッチコンサルティング、セールスフォース・ジャパン、サテライトオフィス、ZVC JAPAN (ABC順)
シルバーパートナー		ミロ・ジャパン、PKSHA Technology (ABC順)
受講料		無料(事前登録制)
視聴者		402名(事前登録者:913名)



[2025年イベントLP](#)

[2025年採録記事](#)

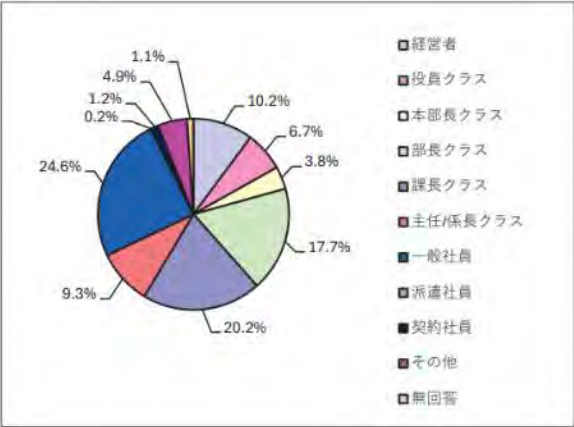
【事前登録者属性】

経営者・役員・本部長で約20%
意思決定層で約68%

役職

	件数	%
経営者	93	10.2%
役員クラス	61	6.7%
本部長クラス	35	3.8%
部長クラス	162	17.7%
課長クラス	184	20.2%
主任/係長クラス	85	9.3%
一般社員	225	24.6%
派遣社員	2	0.2%
契約社員	11	1.2%
その他	45	4.9%
無回答	10	1.1%
合計	913	

(N= 913)

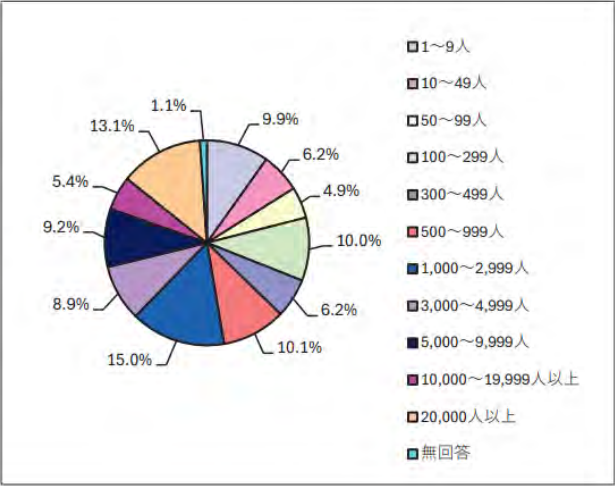


お勤め先従業員規模

	件数	%
1～9人	90	9.9%
10～49人	57	6.2%
50～99人	45	4.9%
100～299人	91	10.0%
300～499人	57	6.2%
500～999人	92	10.1%
1,000～2,999人	137	15.0%
3,000～4,999人	81	8.9%
5,000～9,999人	84	9.2%
10,000～19,999人以上	49	5.4%
20,000人以上	120	13.1%
無回答	10	1.1%
合計	913	

(N= 913)

従業員数1,000名以上の
大手企業が半数以上

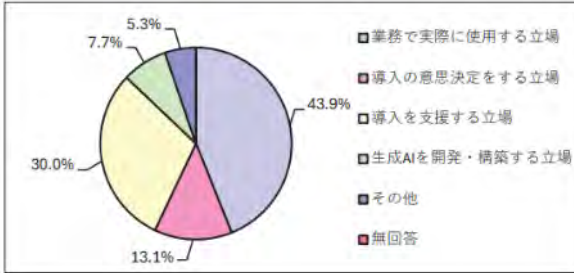


生成AIを利用するユーザー企業が約57%

生成AIに関して、あなたの立場に最も近いものを選択してください。

	件数	%
業務で実際に使用する立場	401	43.9%
導入の意思決定をする立場	120	13.1%
導入を支援する立場	274	30.0%
生成AIを開発・構築する立場	70	7.7%
その他	48	5.3%
無回答	0	0.0%
合計	913	

(N= 913)

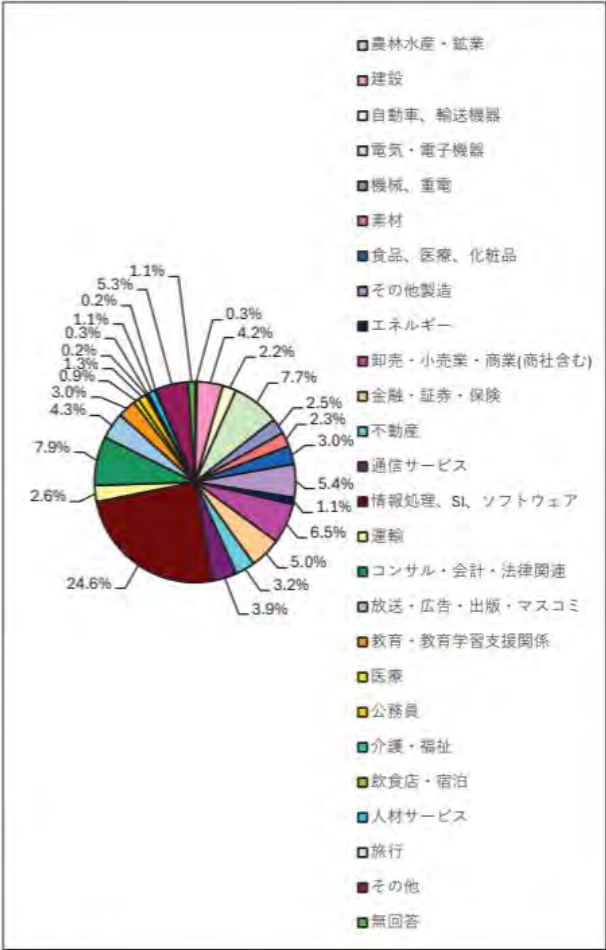


【事前登録者属性】

業種

	件数	%
農林水産・鉱業	3	0.3%
建設	38	4.2%
自動車・輸送機器	20	2.2%
電気・電子機器	70	7.7%
機械・重電	23	2.5%
素材	21	2.3%
食品・医療・化粧品	27	3.0%
その他製造	49	5.4%
エネルギー	10	1.1%
卸売・小売業・商業(商社含む)	59	6.5%
金融・証券・保険	46	5.0%
不動産	29	3.2%
通信サービス	36	3.9%
情報処理・SI、ソフトウェア	225	24.6%
運輸	24	2.6%
コンサル・会計・法律関連	72	7.9%
放送・広告・出版・マスコミ	39	4.3%
教育・教育学習支援関係	27	3.0%
医療	8	0.9%
公務員	12	1.3%
介護・福祉	2	0.2%
飲食店・宿泊	3	0.3%
人材サービス	10	1.1%
旅行	2	0.2%
その他	48	5.3%
無回答	10	1.1%
合計	913	

(N = 913)

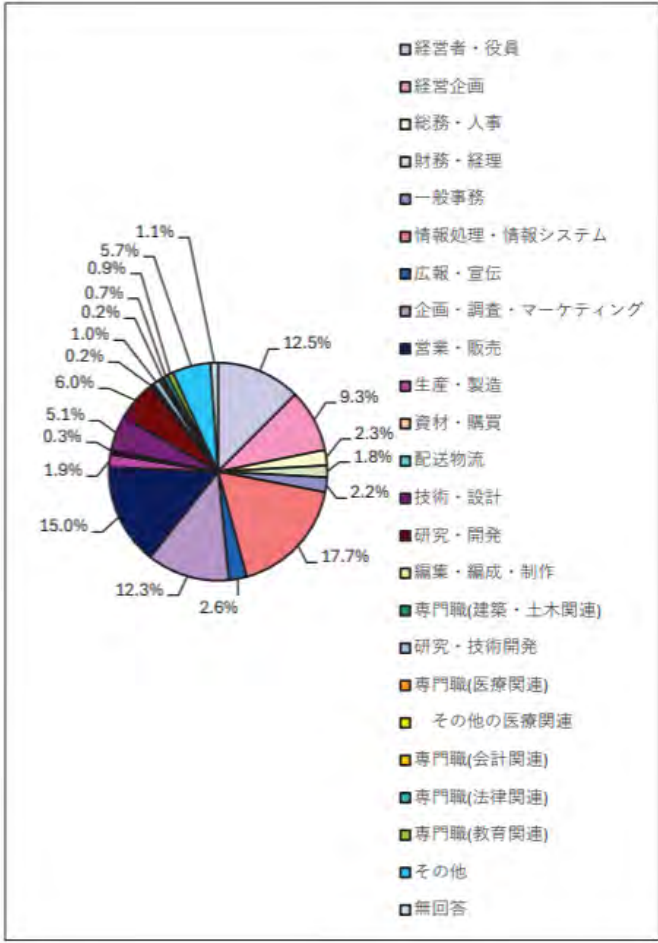


職種

	件数	%
経営者・役員	114	12.5%
経営企画	85	9.3%
総務・人事	21	2.3%
財務・経理	16	1.8%
一般事務	20	2.2%
情報処理・情報システム	162	17.7%
広報・宣伝	24	2.6%
企画・調査・マーケティング	112	12.3%
営業・販売	137	15.0%
生産・製造	17	1.9%
資材・購買	3	0.3%
配送物流	3	0.3%
技術・設計	47	5.1%
研究・開発	55	6.0%
編集・編成・制作	2	0.2%
専門職(建築・土木関連)	3	0.3%
研究・技術開発	9	1.0%
専門職(医療関連)	4	0.4%
その他の医療関連	2	0.2%
専門職(会計関連)	1	0.1%
専門職(法律関連)	6	0.7%
専門職(教育関連)	8	0.9%
その他	52	5.7%
無回答	10	1.1%
合計	913	

(N = 913)

経営・経営企画 21.8%
営業・マーケティング 27.3%
情報システム 17.7%



Q19. 今回のカンファレンスに関してご意見、ご感想があればお聞かせください。

- よかった
- 有意義でした。
- 最新の情報を事例もあり、大変有益なセミナーでした。
- 途中からセッションが分かれてましたが、どちらも聞きたかった。
リアル開催は集中して受講できるため改めて良いと思った。音やムービーなどはリッチで良かった。
- AI活用に向けたアイデアを数多くいただけ参考になりました。
- 今年の総括として内容がまとまっていて良かった。企業事例がとても参考になった。
- 最新情報ありがとうございます。
- 中小企業の企業経営に特化した情報提供があると有難いです
- 新しい情報を取得することが出来、大変有意義なイベントでした。開催ありがとうございました。
- 最新の良い情報をたくさん得られた。
- これからのAIに期待が持てました。
- 生成AIが、「IT部門だけの課題」ではなく「全社戦略・経営戦略」であることを、明確にメッセージングできている点が重要です。
これにより、単発の導入ではなく、組織全体の変革につながる取り組みが加速すると期待できます。大変参考になりました。
ありがとうございました。
- 大変為になりました。
- 昨年に比べて、自分ごとに関われる情報に感じました。面白かったです。
- 勉強になりました。また次回も参加させて頂きたいとおもいます。
- 題材の選択としてよくまとまっていて参考になりました。また、日本での応用開発をどんどん進めないと行けないであろう点も
気付かされました。
- 企業でのAI活用が、思っていた以上に進んでいると勉強になりました。
- ハイレベルの概要としては有益なセッションでしたが、欲を言えばもう少し掘り下げた活用例などの共有があればなお良かったと思います。
- 国（デジタル庁など）や自治体な動きも知りたい。また、LLMの進化がはやく追いついていけない。今後どのような世界になるのか
知りたいので、ガートナーやGoogleなどの知見も聞きたい。
- これだけの先進事例が、熱量タプリの発表で聞けるのは大変ありがたい。勉強になりました。
- 大変勉強になりました。
- 既に社会実装がかなり進んでおり、大企業と中小企業との間で取り組み状況に差が生まれている事に強い危機感を覚えました。
まだまだ情報収集の段階ではありますが、何が出来るのか、よく考えていきたいと思います。
- 参考になりました。ありがとうございます。



- ・ 協賛申込締切 : 10月中旬
 - ・ プログラム確定 : 10月下旬
 - ・ 社告掲載/告知サイトオープン : 11月上旬予定
 - ・ Generative AI Conference 会期 : 12月16日 (水)
 - ・ 開催報告掲載 : 2027年1月下旬以降
-

日経BP アカウントビジネス部

TEL : 03-6811-8025 / E-mail : c-ad@nikkeibp.co.jp